

岬町デジタル田園都市構想 総合戦略の取組みについて

令和6年10月9日（水）
岬町まちづくり総合戦略会議資料

1. 岬町デジタル田園都市構想総合戦略の計画概要について
2. 人口動態について
3. 岬町デジタル田園都市構想総合戦略の方向性
4. 岬町デジタル田園都市構想総合戦略の取組みについて
5. 令和5年度の地方創生の取組みについて
 - (1) 主な取組みについて
 - (2) 成果実績について
6. 人口の将来展望について

1. 岬町デジタル田園都市構想総合戦略の計画概要について

(1) 趣旨

- ・ デジタルの力を活用し、地方創生の取組みを更に発展させていくため、「第2期岬町総合戦略」を見直し、「岬町デジタル田園都市構想総合戦略」として令和6年4月に改訂

(2) 計画期間

- ・ 令和6（2024）年度から令和12（2030）年度までの7年間

(3) 基本目標

- ・ 総合戦略に掲げる基本目標とそれを達成するための具体的な取組みを示した戦略の体系

基本目標 1 新しい人の流れをつくり、定住と交流を促進する

- (1)移住・定住の支援
- (2)関係人口の創出・拡大
- (3)観光の振興
- (4)タウンプロモーションの推進

基本目標 2 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

- (1)結婚・出産・子育ての支援
 - ① 結婚希望の実現
 - ② 妊娠・出産の支援
 - ③ 子育ての支援
- (2)次代を担う人材の育成

基本目標 3 経済を活性化し、安定的な雇用を創出する

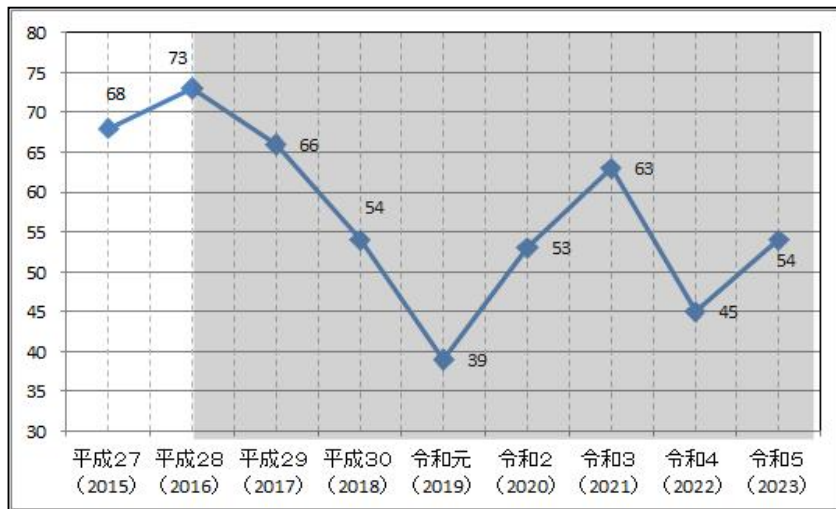
- (1)地域資源を活かしたまちの魅力強化
- (2)地域産業の競争力強化
- (3)雇用対策の推進

基本目標 4 安全・安心な暮らしができる魅力的なまちをつくる

- (1)生活インフラの確保
- (2)安全・安心な暮らしの確保
- (3)誰もが健康で暮らしやすいまちづくりの推進
- (4)地域コミュニティの活性化
- (5)広域連携の推進

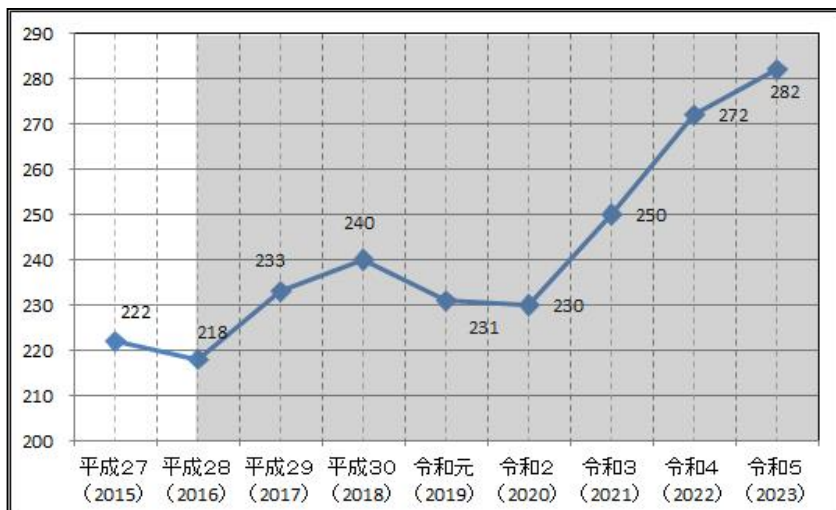
2. 人口動態について

◆ 1. 出生数の推移 ◆



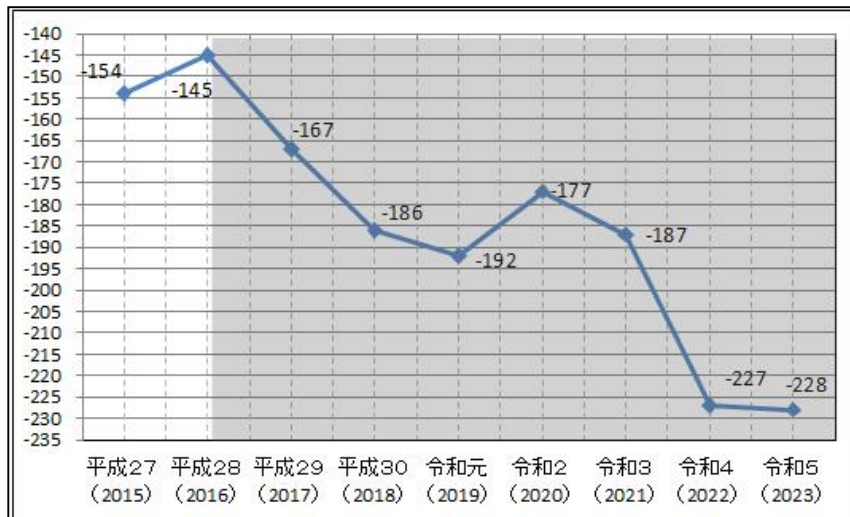
出典：人口動態調査 R5は住民課調べ

◆ 2. 死亡数の推移 ◆



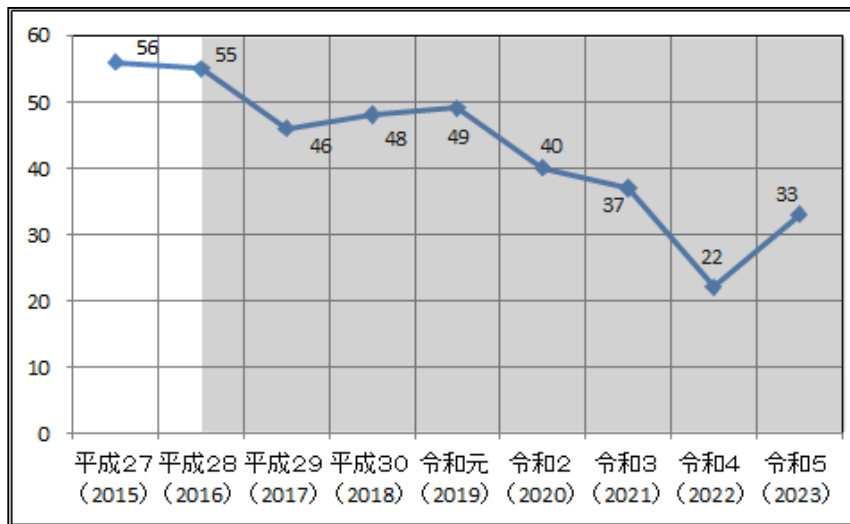
出典：人口動態調査 R5は住民課調べ

◆ 3. 自然増減の推移 ◆



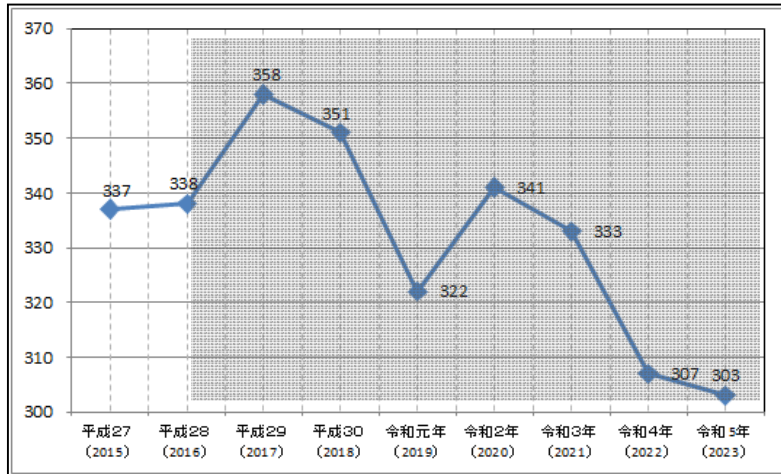
出典：人口動態調査 R5は住民課調べ

◆ 4. 婚姻数の推移 ◆



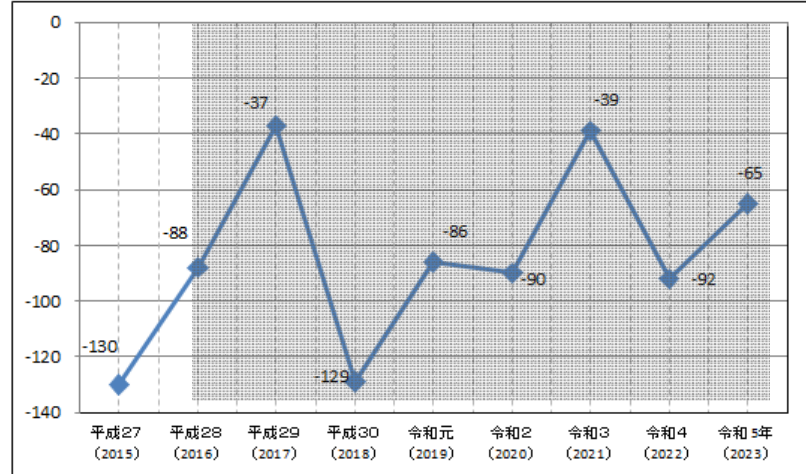
出典：人口動態調査 R5は住民課調べ

◆ 5. 転入数の推移 ◆



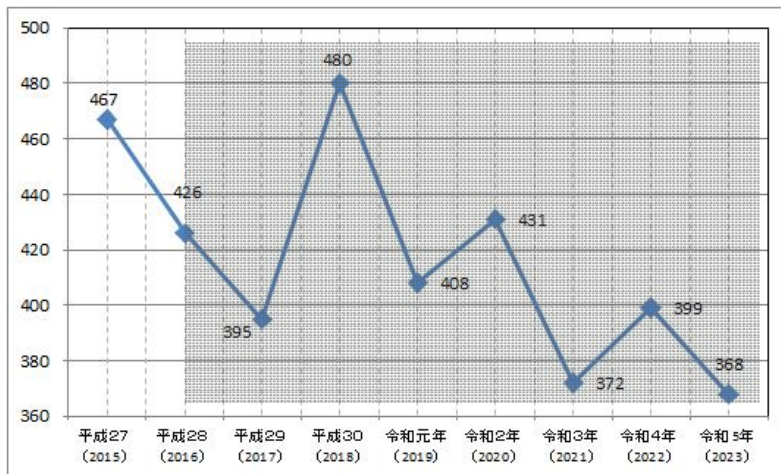
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 7. 社会増減の推移 ◆



出典：住民基本台帳人口移動報告

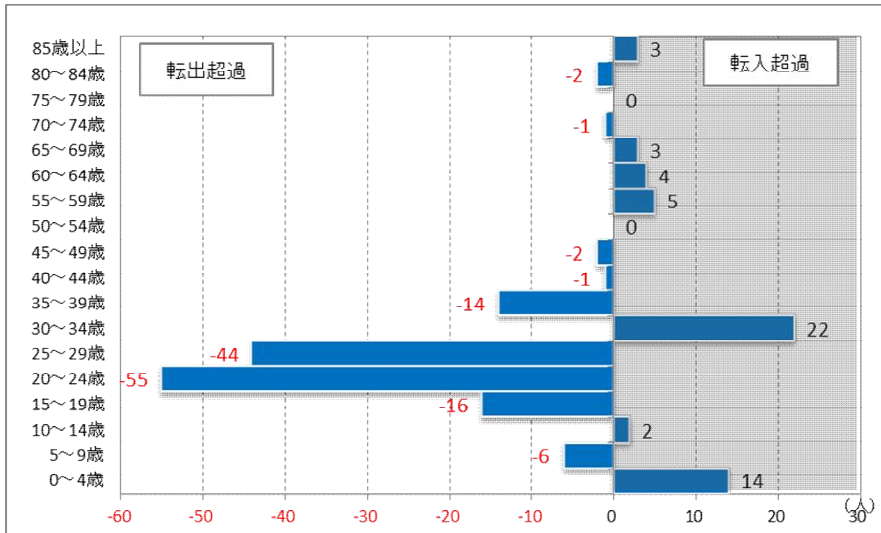
◆ 6. 転出数の推移 ◆



出典：住民基本台帳人口移動報告

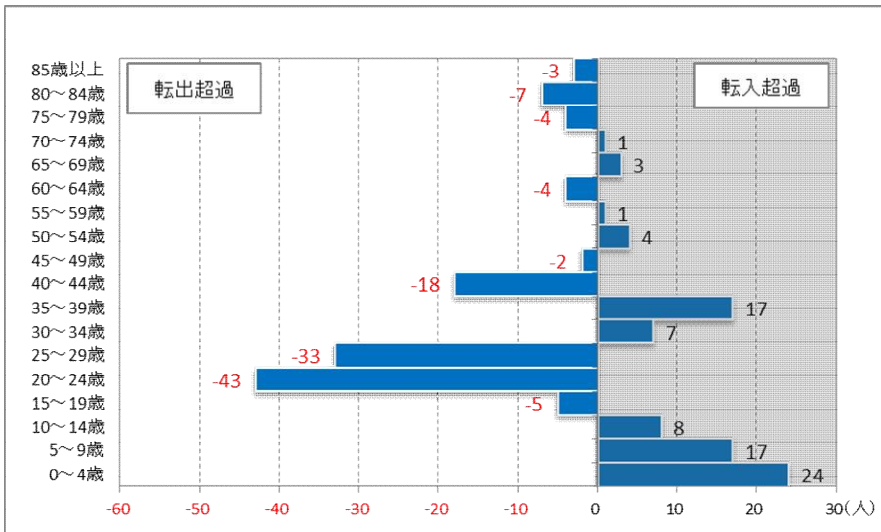


◆ 8-1. 年齢階層別転出入超過数 (平成28年) ◆



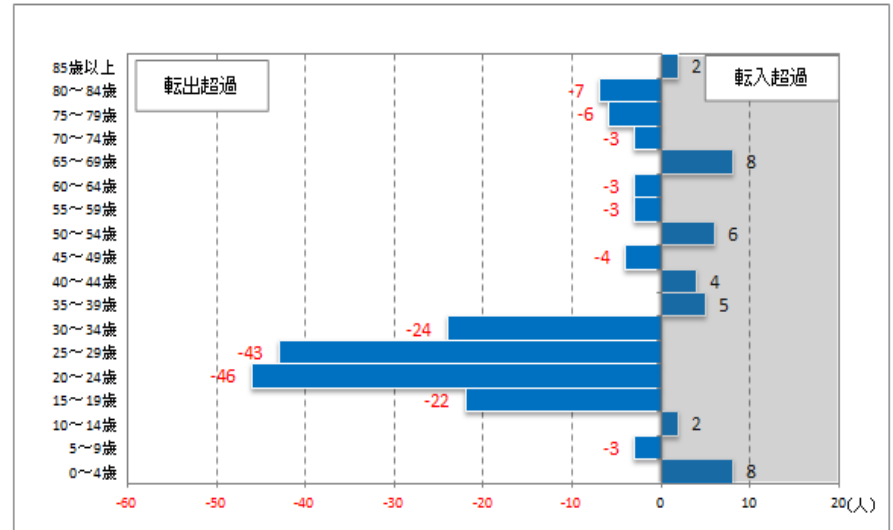
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-2. 年齢階層別転出入超過数 (平成29年) ◆



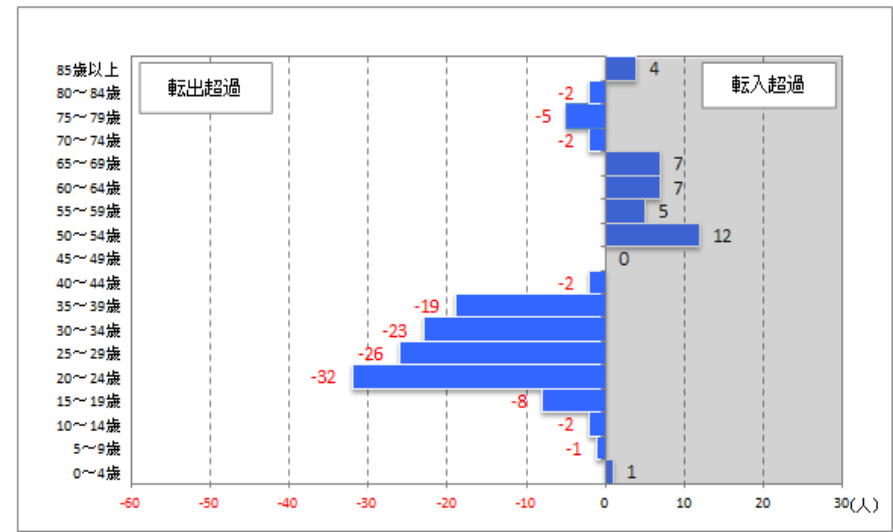
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-3. 年齢階層別転出入超過数 (平成30年) ◆



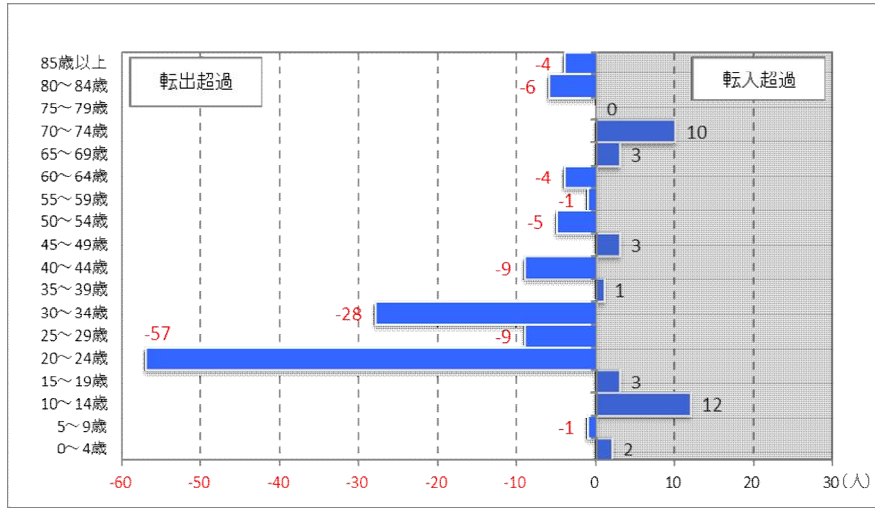
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-4. 年齢階層別転出入超過数 (令和元年) ◆



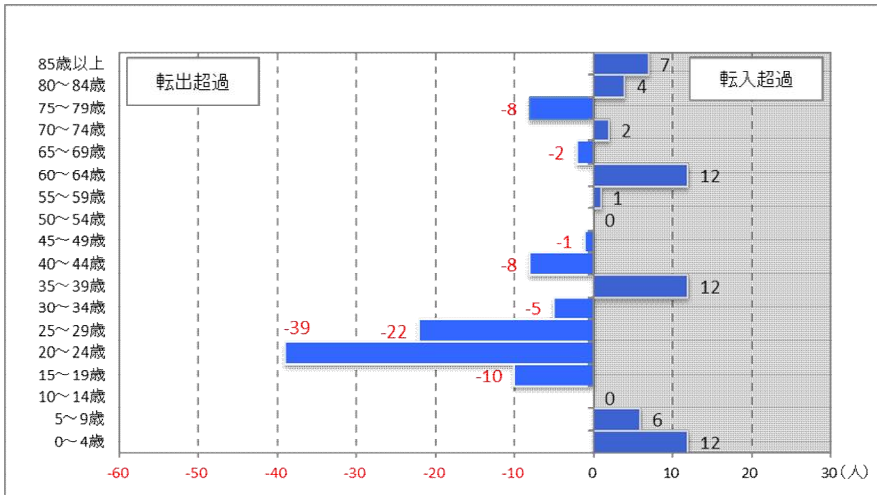
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-5.年齢階層別転出入超過数（令和2年）



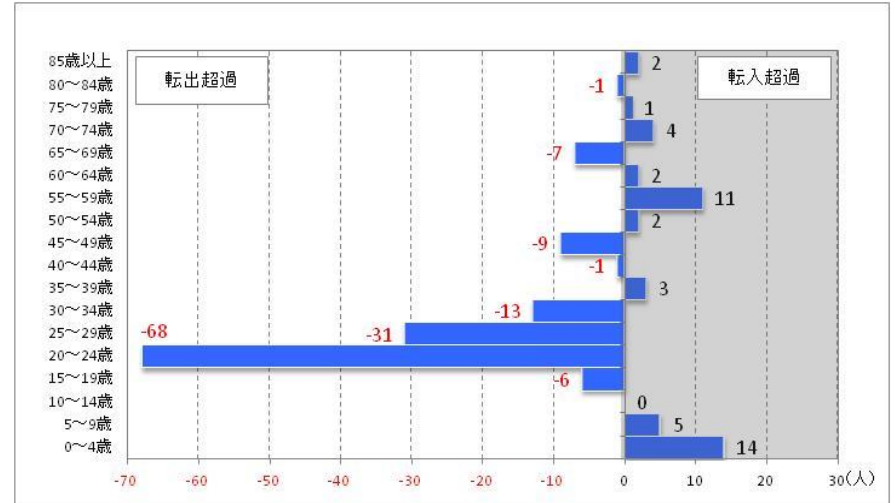
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-6.年齢階層別転出入超過数（令和3年）



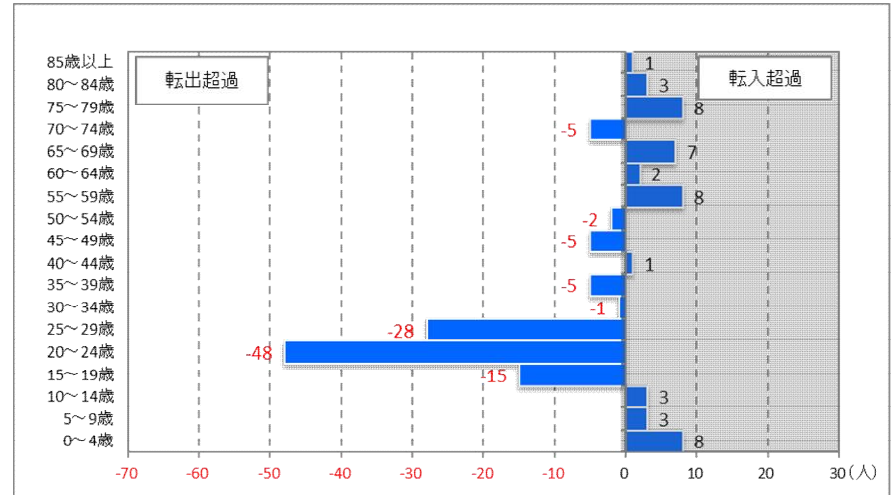
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-7.年齢階層別転出入超過数（令和4年）



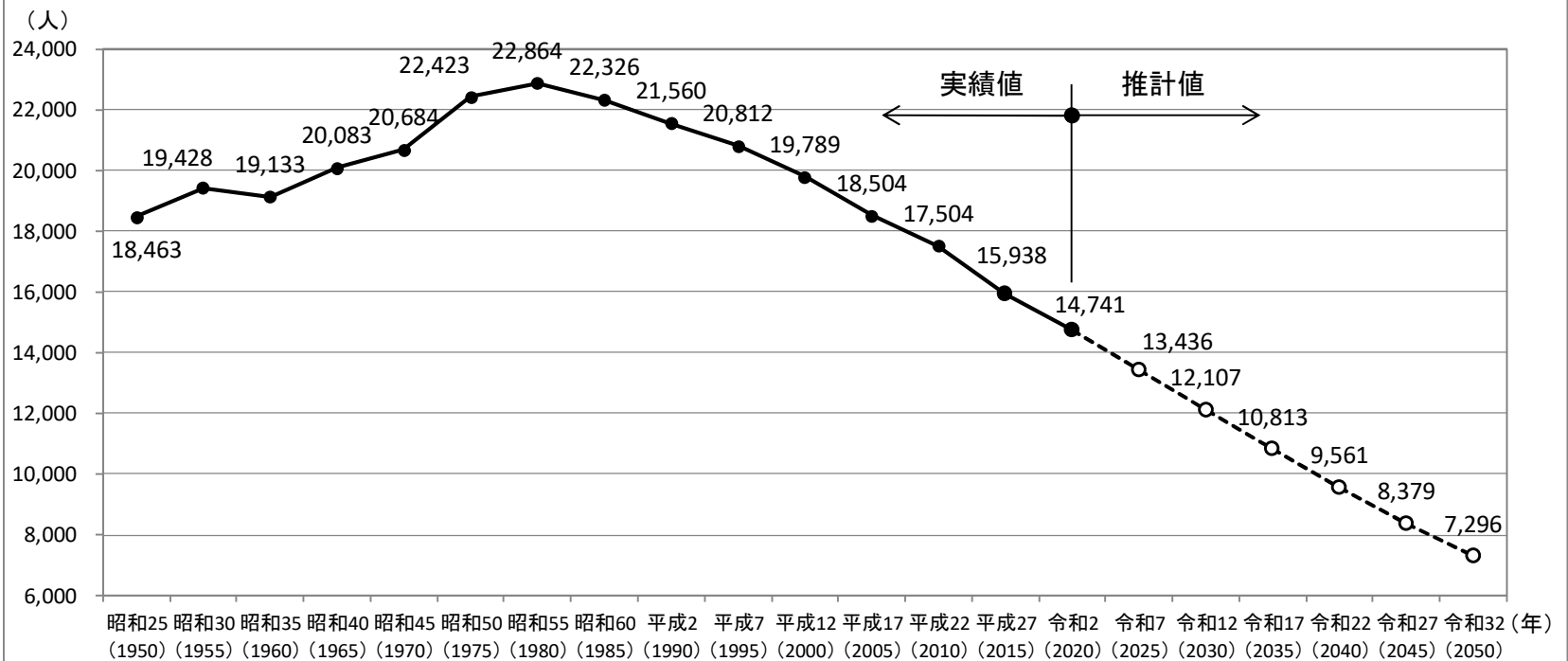
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-8.年齢階層別転出入超過数（令和5年）



出典：住民基本台帳人口移動報告

本町の人口は、昭和55(1980)年の22,864人をピークとして減少に転じ、令和2(2020)年の国勢調査では14,741人となっています。
 国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が公表した推計(令和5(2023)年推計)によると本町の人口は、令和32(2050)年には7,296人まで減少し、令和2(2020)年からの人口減少率は50.5%と、30年間で7,400人以上減少すると推計されています。



資料:昭和50(1975)年までは町統計、昭和55(1980)～令和2(2020)年は国勢調査、令和7(2025)年以降は社人研「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」の数値

3. 岬町デジタル田園都市構想総合戦略の方向性

(1) 岬町の課題

(1) 「自然減」の抑制

自然減は、「死亡数」が「出生数」を大幅に上回る状態が続いているためであり、自然減を抑制するためには「出生率」を向上させていく必要があります。

また、出生率の向上に向けて、このまちに住み、子どもを生み育てたい人の希望を実現するため、出会いや結婚を支援し、妊娠・出産から子育て支援まで切れ目のない施策の充実を図る必要があります。

(2) 「社会減」の抑制

若い世代を中心とする転出超過のうち、特に、近隣市への流出が本町の人口減少につながっています。一方で、進学等により町外に転出した若い世代が、そのまま町外に住み続ける割合が高いことも人口減少につながっています。

転出超過の改善に向けて、近隣市への転出抑制に加え、進学等により町外に転出した若者や新たに移住を希望する方が、このまちに住み、生活したいと思えるような住環境や就労の希望を実現できる雇用環境等の整備・充実を図る施策に取り組む必要があります。

(3) 長期的かつ総合的な観点でのまちづくり

人口減少の要因は、様々な要素が関係していることから、長期的かつ総合的な観点で施策を実行し、まちづくりを推進していく必要があります。

時代にあった地域をつくり、地域と地域が連携した持続可能なまちづくりを進めるため、特に、地域資源の活用、地域の将来を支える人づくり、交流の促進に取り組む必要があります。

(2) 岬町の方向性

岬町デジタル田園総合戦略では、岬町人口ビジョンを踏まえ、国の示す政策分野に基づくとともに、第2期岬町総合戦略で掲げた基本目標の趣旨や施策などを引き継ぐこととします。4つの「基本目標」を設定し、人口減少に歯止めをかけるとともに、デジタルの力を活用しつつ、人口減少社会に対応できるまちづくりを着実に進めていくものとします。

各施策には、短期的に実施が可能な施策と構造的な改革を視野に入れて中長期に継続的に実施すべき施策の両方を含んでおり、第5次岬町総合計画（令和3年（2021年）から令和12年（2030年））との整合を図った内容とします。

4. 岬町デジタル田園都市構想総合戦略の取組みについて



基本目標 1 新しい人の流れをつくり、定住と交流を促進する

→ まちの魅力づくりと情報発信に努め、定住人口の増加と交流人口の拡大を図る。
町や地域と関わりのある町外からの新しい人の流れ（関係人口）を生かした取組みを進める。

◆基本的方向◆

- ・移住・定住者の視点に立ち、雇用や住まい等の移住・定住の条件を向上する総合的な環境整備を行い、移住・定住を促進するとともに、移住者の潜在需要を開拓するため、観光振興や情報発信によって交流人口を拡大し、新しい人の流れを創り出す。
- ・町外に居住しながらも、町や住民と関わり、継続的に地域に貢献する「関係人口」という新たな人の動きに着目し、地域の課題解決につながる仕組みづくりを推進します。また、地域経済の活性化を推進するため、「交流人口」や「関係人口」の創出・拡大を図ります。



◆具体的な施策◆



施策名	主な具体的事業 (令和5年度における実施状況) ※赤字は岬町デジ田総合戦略新規事業 ○実施又は一部実施、△実施予定、×検討中・未実施
① 移住・定住の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 移住・定住に対する支援（新築、中古住宅購入助成、家賃補助、金融機関との連携、奨学金返済支援制度など、移住・定住促進PR番組制作・放送など） ○ 空き家バンク制度の充実（空き家実態調査、登録空き家への支援、民間事業者との連携など）大阪府宅建協会と連携した空き家に関する相談業務の実施 ○ お試し居住事業（本町への移住希望者が一定期間居住できるよう、空き家または空き室を活用） ○ 移住を促進するための情報発信の推進（移住・定住促進PR番組及び町SNSなどを活用した情報発信） ○ テレワークの推進（住民の多様な働き方を実現するため、テレワークができる場所や環境を整備） × サテライトオフィス整備に係る支援の検討 ○ 移住者相談窓口の整備（まちづくり交流館などを活用した移住希望者相談窓口の整備） ○ 移住定住フェアなどへの積極的な参加（移住に興味を持たれている方に対して、本町の魅力や移住・定住施策をPR）
② 関係人口の創出・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岡山県美咲町との連携・交流（児童・生徒交流事業、特産品を活用した給食の実施、イベント開催など） ○ 企業版ふるさと納税寄附活用事業 × 企業版ふるさと納税（人材派遣型）の活用 × 地域活性化起業人（企業人材派遣制度）の活用検討 ○ ふるさと納税寄附活用事業 ○ 地域おこし協力隊の活用 ○ 関係人口の創出・拡大に向けた取組の推進（深日港フェスティバルの開催・まちづくり交流館の活用、住民並びに他市町村からの本町への訪問者が交流できる拠点の拡充検討）

◆具体的な施策◆

施策名	主な具体的事業 (令和5年度における実施状況) ※赤字は岬町デジ田総合戦略新規事業 ○実施又は一部実施、△実施予定、×検討中・未実施
③ 観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光資源の整備 ○ 地域資源を活かした“みさきブランド”の確立（地域特産品の開発支援、販路開拓の支援など） ○ 自然環境の保全・活用の推進（環境保全活動、体験学習の場としての活用など） ○ 観光交流拠点の整備・活用〔みさき公園駅前観光案内所、深日港観光案内所（さんぼるた）、道の駅みさき（夢灯台）〕 ○ 自転車走行空間の整備の検討 ■ イメージ・知名度の向上 ○ マスコットキャラクターの活用（みさきグッズ作成など） ○ イベント開催や地域のイベントの支援 ○ 魅力発信による誘客の促進 ○ 外国人観光客の誘致の推進（町内施設との連携、多言語パンフレット作成や二次元コードを活用した多言語対応看板設置など） ■ 観光インフラの整備 × 大阪府と連携した民泊の検討 ○ 近隣自治体などと連携した広域連携に資する海上交通ルートの整備の検討（深日港航路） ○ 幹線道路網の整備（第二阪和国道4車線化、町道西畑線） ○ 観光周遊ポータル・アプリの検討（観光客向けの観光マップや情報通知アプリを検討し、観光客の周遊や消費などを促進） × 観光列車やサイクルトレインの検討（南海多奈川線活性化の取組）
④ タウンプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ タウンプロモーションの推進（プロモーションビデオの作成・放映、広報活動の推進、タウンプロモーションイベントへの参加など） ○ メディア、民間事業者、大阪府、近隣市町と連携した情報発信の推進 ○ SNSなど多様なICTを活用した情報発信の推進 ○ 大学との連携の推進（フィールドワークの受入） ○ 魅力発信による誘客の促進【再掲】

➡ 結婚・出産・子育ての切れ目ない支援により、少子化を克服するとともに、次代のみさきを担う人材の育成、確保を図る。

◆基本的方向◆

誰もが結婚の希望を実現し、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりを進める。また、素晴らしい自然環境や、小さな町だからできるきめ細やかな対応といった特性を活かし、こどもたちが心身ともに健やかに育ち、まちへの愛着を育む教育を進める。



◆具体的な施策◆

施策名	主な具体的事業 (令和5年度における実施状況)	※赤字は岬町デジ田総合戦略新規事業 ○実施又は一部実施、△実施予定、×検討中・未実施
①結婚・出産・子育ての支援	ア 結婚希望の実現	○ 婚活事業の推進（婚活イベントなどの出会いの場の創出・提供の支援、民間事業者との連携など） ○ 結婚新生活のスタートアップに係る支援
	イ 妊娠・出産の支援	○ 不妊・不育治療の支援（ 岬町不妊不育治療費助成事業 ） ○ 妊娠初期からの包括的な支援（妊婦健診、両親教室、マタニティサークル、 乳幼児健診、伴走型相談支援等母子保健事業の充実など ） ○ 出産後の母親の不安・負担の軽減を図る産後ケア事業の推進（ 産後ケア事業（短期入所、サービス）の実施、受け入れ施設の確保、伴走型相談支援による子育て世代への寄り添い支援など ） ○ 周産期・小児期医療の確保（泉州広域母子医療センター及び小児二次救急体制確保のための運営支援、 地域医師との連携強化など ） ○ 出産時の経済的な支援（出産祝金、 出産・子育て応援交付金など ）
	ウ 子育ての支援	■ 情報の提供 ○ 子育て支援冊子の作成 ○ 子育て応援ポータルサイトの運営（ 母子手帳アプリ「みさきこアプリ」の活用 ） ■ 子育て利便施設の整備 ○ 子どもや子育て世代に優しい公共施設などの整備

◆具体的な施策◆

施策名	主な具体的事業 (令和5年度における実施状況) ※赤字は岬町デジタル総合戦略新規事業 ○実施又は一部実施、△実施予定、×検討中・未実施
① 結婚・出産・子育ての支援 ウ子育ての支援 (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保育環境の向上 ○ 子ども医療費の助成の充実 ○ 多子世帯の支援の検討 ○ ワーク・ライフ・バランスの推進 (男女共同参画事業の推進、地域就労支援事業の推進など) × 母子健康手帳アプリの充実 (母子保健事業、子育て支援情報などのプッシュ提供や、予防接種の予診票の電子化を実現するため、母子健康手帳アプリの内容の充実を検討) × オンライン診療の実施検討 (自宅でのオンライン診療など、デジタルを活用した医療サービスの提供を地区医師会と検討)
② 次代を担う人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 確かな学力の定着と多様な学びの充実 ○ 小中学校連携教育の推進 ○ キャリア教育の推進 △ GIGAスクール構想の充実 (ICT機器を活用した教育環境の向上、個別最適化学習の充実、オンライン学習の充実、校務支援システムの導入など) ■ 教育環境の充実 ○ 学習環境の充実 (学校図書の充実、耐震対策 (非構造部材)、空調設備・洋式・多目的トイレの整備など) △ 校務支援システムの導入 (学籍管理や成績管理など校務の効率化支援ツールの導入) ■ こころと体の育み ○ 教育相談体制の充実 (スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの派遣など) ○ 体力・運動能力の向上 (外部指導員の派遣など) ■ 地域社会の連携 ○ 地域に開かれた学校づくりの推進 (学校運営協議会の検討) ○ 子どもの見守り活動の推進 (子ども安全見守り活動など) ■ 地域に対する誇りの醸成 ○ 海に親しみ、理解を深めるための体験学習の推進

➡ 産業の育成、創業の支援などによる雇用創出と地域資源を活かした魅力づくりを進め、就職したい人の希望をかなえる。

◆基本的方向◆

本町の産業構造や自然環境など地域特性を最大限活かし、農業や漁業、製造業、サービス業などの産業振興を進めるとともに、就労支援や相談業務の充実を図り、関係機関と連携し、安心して就労できる環境づくりを進め、雇用機会の確保・創出を進める。



◆具体的な施策◆

施策名	主な具体的事業 (令和5年度における実施状況)	※赤字は岬町デジ田総合戦略新規事業 ○実施又は一部実施、△実施予定、×検討中・未実施
① 地域資源を活かしたまちの魅力強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業誘致の推進 (関西電力多奈川発電所跡地・旧多奈川第二発電所用地) ○ 創業支援の強化 (創業支援セミナーの開催、創業・新規開業の金融支援、創業拠点の確保支援 (空き家バンクの活用) など) ○ 地域公共交通の確保 (コミュニティバス路線の再構築、企業誘致などをはじめとした南海多奈川線の維持に向けた取組) 	
② 地域産業の競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既存企業への支援 (経営関係セミナーの開催、操業の金融支援の検討など) ○ 農業・漁業の活性化 (生産基盤の整備、農業法人との連携、新規就業者や後継者の確保・育成の支援、6次産業化への支援、道の駅での農水産物の販売支援など) ○ 遊休農地の活用 (市民農園、資源・景観作物栽培の支援など) ○ 地元特産品のふるさと納税謝礼品への活用、インターネットを活用した販売の支援 ○ 森林資源の育成・活用 (森林環境譲与税などの活用) × 中小企業デジタル化支援の検討 (中小企業のICT機器や業務管理システムなどの導入支援を検討) × 地域通貨・ポイントの検討 (デジタル地域通貨・ポイントの活用などを検討し、地域内のキャッシュレス化や経済循環などを促進) × スマート農業・林業・水産業の検討 	
③ 雇用対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の就労の支援 (シルバー人材センターの活動支援など) ○ 大学との連携の推進 (インターンシップの受入など) ○ 新たな技能を身につける職業訓練やリカレント教育の推進 	

→ 地域力・住民力を活かし、人口減少社会に対応した安全・安心かつ快適で利便性の高いまちを創出する。

◆基本的方向◆

超高齢社会に対応し、誰もが住み慣れた地域の中で元気にいきいきと安心して生活できる環境整備を進める。また、災害に強いまちづくりの観点からも、これまでに整備した都市施設の維持更新を含めて、引き続き都市基盤の計画的な整備を進め、安全で快適な暮らしを守るまちづくりを進める。



◆具体的な施策◆



施策名	主な具体的事業 (令和5年度における実施状況) ※赤字は岬町デジ田総合戦略新規事業 ○実施又は一部実施、△実施予定、×検討中・未実施
①生活インフラの確保	<p>■交通環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域公共交通の確保（コミュニティバス路線の再構築、南海多奈川線の維持に向けた取組、公共交通事業者と連携したイベント開催など） ○交通結節機能の向上（公共交通の接続、駅前広場の整備検討） △キャッシュレス化の取組（コミュニティバスへの交通系ICカード導入検討） ×住民向けMaaSの検討（多様な交通手段を組み合わせた経路検索、予約、決済や地域情報をワンストップで提供できるよう検討） <p>■住民サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町公式SNSの利便性向上（町公式LINEをはじめとした各種SNSのサービス充実による利便性向上） ○コンビニ・郵便局交付サービスの提供（住民票の写しをはじめとする町の各種証明書がコンビニエンスストアや郵便局で取得可能） ○コンビニ納付サービスの提供（各種支払い（町税、国民健康保険料、介護保険料）が全国のコンビニエンスストアで納付可能） ○オンライン申請の推進（書面、対面、押印などの行政手続きのオンライン化を推進） ○キャッシュレス決済の導入推進（行政におけるあらゆる支払手続きのキャッシュレス化を推進） ○スマホ教室の開催、スマホ相談窓口の設置検討（デジタルデバイド（情報格差）解消に向けた取組） <p>■デジタルインフラの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Wi-Fi環境の整備推進（災害発生時の情報伝達手段や日常におけるICTの活用機会を確保するため、防災拠点や公的拠点へのWi-Fi環境の整備を推進） ×通信環境の充実（光ファイバー網の整備、5Gエリアの拡充への取組）

◆具体的な施策◆

施策名	主な具体的事業 (令和5年度における実施状況) ※赤字は岬町デジタル田総合戦略新規事業 ○実施又は一部実施、△実施予定、×検討中・未実施
② 安全・安心な暮らしの確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 防災・減災・災害発生時の対策 <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時の緊急物資輸送等災害拠点整備（深日港） ○ 地理空間情報システム（GIS）の活用（GISを活用し、デジタル化したインフラ情報の一元提供や災害発生時のハザードマップの公開） ■ 防犯の対策 <ul style="list-style-type: none"> ○ 良好な治安の維持（防犯灯や防犯カメラの設置、地域の見守り活動、防犯啓発の推進など） ■ 交通安全の対策 <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全の確保（交通安全施設の整備、交通危険個所の解消など） ■ 地域連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域活動への参加支援（学校ボランティア、地域見守り活動、自主防災活動など）
③ 誰もが健康で暮らしやすいまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康・福祉の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅医療・介護連携の推進 ○ 認知症施策の推進 ○ 地域包括ケアシステムの構築 ■ 生涯学習・スポーツの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の推進（地域の自然や歴史を学ぶ教室の開催、文化活動の支援、岬の歴史館の充実、施設運営や歴史資料などのデジタル化の検討） ○ スポーツに親しめる環境づくり（いきいきパークみさき及び岬町スポーツ広場の活用、スポーツイベントの開催、マリンスポーツの普及、アスリート育成のためのデジタルプログラム導入の検討）
④ 地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民のまちづくり活動、コミュニティ活動、ボランティア活動の支援（岬ゆめみらい事業、コミュニティ用品の貸出事業、学校安全ボランティアの推進など） ○ 自治区活動の支援、自治区への加入のPR
⑤ 広域連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣市町との事務事業の連携 ○ 近隣市町との公共施設やインフラに係る共通課題解決に向けた取組の検討

5. 令和5年度の地方創生の取組みについて

(1) 主な取組みについて

●住宅取得、結婚や出産、子育てに関する各種助成事業を実施する。

◆ 1.新築住宅助成◆

	件数	対象人数	内町外移住
令和元年度	13件	44人	18人
令和2年度	19件	49人	21人
令和3年度	20件	58人	42人
令和4年度	14件	37人	19人
令和5年度	14件	56人	25人

◆ 2.中古住宅助成◆

	件数	対象人数	内町外移住
令和元年度	6件	17人	7人
令和2年度	4件	8人	4人
令和3年度	3件	7人	6人
令和4年度	4件	12人	8人
令和5年度	1件	3人	3人

◆ 3.家賃助成◆

	件数	対象人数	内町外移住
令和元年度	8件	21人	14人
令和2年度	6件	13人	8人
令和3年度	3件	7人	6人
令和4年度	3件	7人	6人
令和5年度	3件	8人	7人

◆ 4.民間事業者との連携による婚活イベント◆

	開催件数	参加者数	交際成立数
令和元年度	1件	27人	8人

※平成30年度、令和2～5年度は実績なし

◆ 5.出産祝金◆

◆ 6.不妊・不育補助◆

	件数
令和元年度	37件
令和2年度	52件
令和3年度	52件
令和4年度	47件
令和5年度	41件

	助成件数
令和元年度	12件
令和2年度	16件
令和3年度	12件
令和4年度	10件
令和5年度	9件

◆ 7.結婚新生活支援事業◆

◆ 8.空き家再生事業◆

	助成件数
令和元年度	1件
令和2年度	1件
令和3年度	3件
令和4年度	1件
令和5年度	1件

	件数
令和元年度	5件
令和2年度	4件
令和3年度	1件
令和4年度	1件
令和5年度	3件

●奨学金返還支援助成・グローバル人材育成支援補助・結婚祝金【令和4年度新規事業】

◆9.奨学金返還支援助成◆

奨学金返還者の就労初期における経済的負担を軽減することによって町内への定住を促すことを目的とし、奨学金の返還者に対し、助成金を交付。

令和4年度実績： 4件
令和5年度実績： 8件

◆10.グローバル人材育成支援補助◆

国際化に高い意識、関心を有し、将来国際的な役割を担う夢を応援するため、岬町グローバル人材育成支援補助金を交付。

令和4年度実績： 3件
令和5年度実績： 3件

◆11.結婚祝金◆

未婚者の婚姻を奨励するとともに、町内への定着化を図ることで人口の減少を抑制し、本町の活性化の推進に資することを目的に結婚祝金を交付。

令和4年度実績： 5件
令和5年度実績： 9件

◆9
大学等を卒業し、
令和4年4月1日以降に
奨学金の返還を始めた方

※他、諸要件あり



年間最大10万円

奨学金の返還を補助します！

◆10



高校生等の
短期留学 を応援！
上限10万円 を補助

◆11



新婚世帯 を祝福し、
夫婦1組につき5万円
を交付します

主な取り組み②

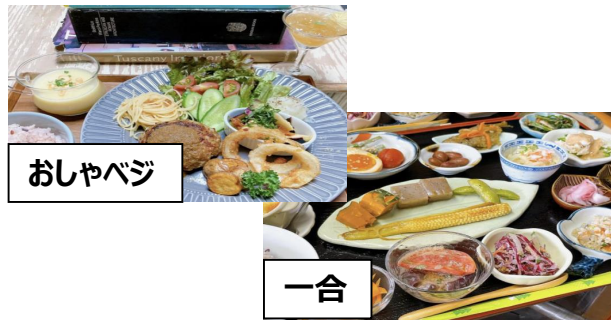
空き家活用事業（まちづくり交流館）



- 多奈川駅前の元旅館を借上げ、地域おこし協力隊の事務所として町内外の住民が集える交流拠点「まちづくり交流館」の貸館制度を活用し、カフェ等をオープン。
- シェアキッチンは従来の3店舗の定期利用に加えて、4店舗の新規利用開始。
- まちづくり交流館貸館利用者のうち、2事業者が町内で自らの店舗を開業。
- 町内外問わず、年間約1,000人が来館。



まちづくり交流館



おしゃベジ

一合



EC勉強会



英会話教室

misakina marche
岬のマルシェ

2023 7月30日(日) 10:30-15:30
ミサキノヒトフク

素敵なお店が大集合!!

場所: 岬町まちづくり交流館「ミサキノヒトフク」 住所: 大阪府泉南郡岬町多奈川谷川3400-6
TEL: 080-4643-5482

施策に関連する総合戦略における重要業績評価指標（KPI）

1) 移住・定住の支援

重要業績評価指標(KPI)	令和5年度実績値
空家率※2	17.9%

※2住宅・土地統計調査

● J：COMチャンネルにて、岬町への移住・定住促進を目的とした町の魅力発信動画を大阪市以北の地域で放送。



施策に関連する総合戦略における
重要業績評価指標 (KPI)

4) タウンプロモーションの推進

重要業績評価指標 (KPI)	令和5年度 実績値
ホームページアクセス件数	65,943件

●創業支援事業補助金を受け、2件の店舗が新たに創業

●ビジネスプランコンテストの実施



整体院 YAMA



Espace Du Calme
ヘッドマッサージ

★創業支援事業補助金交付件数

年度	件数
令和元年度	2件
令和2年度	3件
令和3年度	2件
令和4年度	3件
令和5年度	2件

★ビジネスプランコンテスト申込・入賞※件数

年度	申込件数	入賞件数
令和元年度	2件	1件
令和2年度	11件	3件
令和3年度	6件	2件
令和4年度	5件	2件
令和5年度	1件	1件

- 令和5年4月29日（土）3年ぶりにつつじ祭りが開催され、町内外から約1,300人の方が訪れました。
- 令和5年7月2日（日）深日港の活性化を目的とした深日港フェスティバルが開催され、約7,000人の方にご来場いただきました。
- 本町への交流人口の増加、賑わいの創出、まちの魅力発信に繋げることを目的に、令和5年11月4日（土）いきいきパークみさきで「RIDE集会」が開催されました。（全国各地からバイク愛好家が集まり、交流するイベント）
- 令和5年11月18日（土）多奈川ビオトープにて、自然観察と工作体験イベントを実施しました。
- 令和5年12月16日（土）から令和6年1月14日（日）にみさき公園にて岬町観光協会が設置したイルミネーションが点灯され、期間中訪れた約12,000人の方を心身共に明るく照らしました。
- 令和6年2月15日（木）町の活性化のために活動している地域おこし協力隊が、自身の活動をより多くの方に知っていただくため、活動報告会を行いました。



- 岬町と兵庫県洲本市は、大阪湾を横断する広域観光ルートを形成するため、深日港と洲本港間を自転車積載可能な旅客船で結び、サイクリストを中心とした旅行者の利用を促進し、広域型サイクルツーリズムを推進している。
また、本ルートにより創出される人の流れを地域での観光消費に繋げることを重点課題とし、着地型観光プログラムの造成や観光ガイドの活動支援に取り組み、持続的な観光地域づくりを進めるもの。
- 深日港洲本港航路と連携したバスツアーや加太観光協会と連携したサイクリングツアーの開催、洲本市内の商業施設と連携した温泉付きプランなどの着地型観光ツアーの販売を行い、地域での観光消費拡大を図った。
- 観光ボランティアガイドの知識の向上と今後の活動に活かすため、KIX泉州ツーリズムビューローより外部講師を招き、岬町のインバウンドの動向や他地域の先進事例についてのセミナーを実施した。
- 令和6年度においては、継続して着地型観光ツアーを開催するほか、他の交通機関（鉄道・バス）とのセット販売を行うなど、地域の関係事業者と更なる連携拡大・強化を図り、事業を推進している。



重要業績評価指標 (KPI)	単位	目標値 (R5)	R5
①滞在型・着地型観光プログラム利用者数	人	240	240
②滞在型・着地型観光プログラム造成数	件	5	5
③観光ガイド登録者数	人	5	3
④サイクリング促進イベント参加者数	人	20	20



- 岬町におけるデジタル社会の実現を進めるため、令和3年度に「みんなでつくる恵み豊かな温もりのデジタル社会」を基本理念に掲げた「岬町DX基本計画」を策定。「利便性が実感できるデジタル社会の実現」、「誰もが参加できるデジタル社会の実現」、「新しい価値を生み出すデジタル社会の実現」を基本方針として、「電子申請システムの導入」、「窓口支払い用電子決済システムの導入」、「防災拠点のWi-Fi整備」、「スマホ教室の開催」、「電子決裁・文書管理システムの導入」などの事業を実施。
- 令和5年度には国が進めるデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、「コンビニ交付事業（住民票等のコンビニ交付、介護保険料のコンビニ納付）」、「統合型・公開型GIS導入事業（各種地形図データの電子化、地図データの公開、ホームページへのチャットボット導入）」を実施。令和6年度も交付金を活用し、「書かない窓口事業（申請書等自動作成支援）」、「コミュニティバスキャッシュレス化事業（交通系ICカードリーダー導入）」、「学校の校務支援システム導入事業」を実施する。

コンビニ等で 住民票の写し等が 取得できます！

役場窓口より
100円お得やで！



マイナンバーカードを利用して、住民票などの証明書が取得できるようになりました。詳しくは、右のQRコードを読み取ってください



マルチコピー機が設置されたコンビニスーパー・岬多奈川郵便局で取得可能



スマホ教室（役場住民活動センター）



令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金 主な重要業績評価指標（KPI）	単位	目標値 （R5）	実績値 （R5）
① 証明書等のコンビニ等交付による割合	%	10	24
② コンビニ等交付サービス満足度	%	70	80.1
③ GIS利用者アンケート結果（満足度）	%	50	50.9
④ チャットボット利用者アンケート結果（解決度）	%	60	85.7

※①令和6年2月～令和6年3月31日までの実績に基づく

※②～④はデジタル化の取り組みについてのアンケート結果に基づく

チャットボット

5. 令和5年度の地方創生の取組みについて

(2) 成果実績について



まちの魅力づくりと情報発信に努め、定住人口の増加と交流人口の拡大を図る。
町や地域と関わりのある町外からの新しい人の流れ（「関係人口」）を活かした取組を進める。

数値目標	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
社会増減数※1	△92人	0人(R12)	△129人	△86人	△90人	△39人	△92人	△65人
観光入込数※2	1,562千人	2,000千人(R12)	1,304千人	1,948千人	1,366千人	1,428千人	1,562千人	1,572千人

1) 移住・定住の支援、 2) 関係人口の創出・拡大

※1住民基本台帳人口移動報告（転入数－転出数）

※2産業観光促進課調べ

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
若年層（20～39歳）の転出超過数（単年度）※1	△109人	△80人(R12)	△108人	△100人	△93人	△54人	△109人	△82人
空き家率（単年度）※2	17.9% (H30)	現状を下回る (R12)	17.9%	－	－	－	17.9%	－
まちづくり交流館での移住相談件数(単年度)	0人	12人(R12)	－	－	－	－	0人	15人
移住・定住フェアなどにおける移住相談人数 (単年度)	0人	20人(R12)	－	－	－	－	0人	0人
学校間交流に参加した人数（単年度） ※3	93人	400人(R12)	－	－	－	－	93人※3	18人※3
企業版ふるさと納税の寄附額（単年度）	2,100千円	10,000千円	－	－	－	－	2,100千円	1,000千円
企業版ふるさと納税(人材派遣型)の人材 受け入れ数（単年度）	0人	1人(R12)	－	－	－	－	0人	0人
ふるさと納税の寄附額（単年度）	116,511千円	300,000千円 (R12)	877,901千円	8,625千円	7,038千円	10,018千円	116,511千円	246,021千円
地域おこし協力隊の任期終了後の定住者数 (単年度)	実績なし	2人(R12)	－	－	－	－	実績なし	実績なし
まちづくり交流館利用者数(単年度)【再掲】	1,113人	2,000人(R12)	－	－	－	－	1,113人	1,135人

※1住民基本台帳人口移動報告（転入数－転出数）、※2住宅・土地統計調査

※3 岬町、美咲町両校交流児童の合計（教師除く）

成果実績①



3)観光の振興

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
滞在人口(休日14時の人口)(年平均、単年度)	13,226人/月	25,000人/月(R12)	16,270人※1	15,215人※2	13,591人※3	13,884人※4	13,226人※5	12,562人※6
道の駅みさき来場者数(単年度)	1,121,706人	1,160,000人(R12)	—	—	—	—	1,121,706人	1,125,027人
とっとパーク小島来場者数(単年度)	42,493人	50,000人(R12)	—	—	—	—	42,493人	37,206人
観光イベント来場者数(単年度)	19,712人	30,000人(R12)	—	—	—	—	19,712人	25,320人

※1※2※3※4※5※6 RESAS滞在人口(5月休日、15歳以上80歳未満)

4)タウンプロモーションの推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
ホームページアクセス件数(単年度)	147,059件	200,000件(R12)	—	—	128,456件	160,000件	147,059件	65,943件※3
町公式SNSでの魅力・情報発信件数(単年度)※1	158件	250件(R12)	—	—	—	—	158件	105件
町公式SNSフォロワー数※2	1,780人	4,000人(R12)	—	—	—	—	1,780人	2,147人
タウンプロモーション参加回数(単年度)	0回	3回(R12)	—	—	—	—	0回	2回

※1 町公式Instagramによる魅力・情報発信件数 ※2 町公式Instagramフォロワー数

※3 アクセス解析ツールのバージョンアップにより、令和5年6月～令和6年3月までの件数

基本目標2 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

結婚・出産・子育ての切れ目ない支援により、少子化を克服するとともに、
 次代のみさを担う人材の育成、確保を図る。



数値目標	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
合計特殊出生率 ※1	1.14(H25~29)	1.25(R12)	—	—	1.14(H25~29)	—	1.14	1.18
岬町に愛着を感じる住民の割合(単年度)	73.4%(R1)	80%(R12)	—	—	73.4% ※2	—	—	—

1)結婚・出産・子育ての支援

※1人口動態統計特殊報告、※2第5次総合計画策定に関する住民意識調査

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
婚姻率(千対率) (単年度)※1	2.5(R3)	4.4(R12)	3.1	3.2	2.7	2.7	2.5	2.4
妊娠届が満11週まで提出される割合 (単年度)	94.4%	100%(R12)	92.1%	91.2%	96.7%	97.9%	94.4%	100%
こんにちは赤ちゃん(乳児家庭全戸訪問)訪問率(単年度)	92.5%	100%(R12)	96.2%	92.1%	96.6%	89.7%	92.5%	95.3%
子育て施策の満足度(単年度)※2	28.6%(R1)	50%(R12)	—	28.6%	—	—	—	28.6%
ファミリーサポートセンター登録者数 (単年度)	援助39人 利用41人	援助46人(R12) 利用42人(R12)	援助33人 利用32人	援助34人 利用34人	援助37人 利用39人	援助38人 利用41人	援助39人 利用41人	援助42人 利用47人
子育て支援センター利用者数(単年度)	4,346人	5,400人(R12)	6,575人	5,160人	1,789人	3,253人	4,346人	4,091人
みさきっこアプリ妊婦登録率(単年度)	0%	50%(R12)	—	—	—	—	0%	31.7%

2)次代を担う人材の育成

※1大阪府人口動態調査 ※2第5次総合計画策定に関する住民意識調査

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
全国学力・学習状況調査 (単年度)	4科目中2科目で全国平均を上回る(R4)	全国の平均正答率を上回る(R12)	4科目中2教科全国平均を上回る	4科目中3科目全国平均を上回る	新型コロナウイルス感染症対策として中止	4科目中1科目全国平均を上回る	4科目中2科目全国平均を上回る	5科目中2科目全国平均を上回る
全国体力・運動能力、運動習慣等調査体力合計点 (単年度)	小学校のみ全国平均を上回る(R4)	男女ともに全国平均を上回る(R12)	男女ともに全国平均を上回る	男女ともに全国平均を上回る	新型コロナウイルス感染症対策として中止	男女ともに全国平均を上回る	小学校のみ全国平均を上回る	中学校女子、小学校男子が全国平均を上回る
学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合(単年度)	全国平均を上回る	全国平均を上回る(R12)	—	全国平均を下回る	新型コロナウイルス感染症対策として全国調査は実施せず	全国平均を上回る	全国平均を上回る	全国平均を上回る

※1※2教育委員会調べ(数値は非公表)

基本目標3 経済を活性化し、安定的な雇用を創出する



産業の育成、創業の支援などによる雇用創出と地域資源を活かした魅力づくりを進め、就職を希望する人の希望をかなえる。

数値目標	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
町の取り組みによる雇用創出数(累計)	162人	210人 (R12)	85人	105人	106人	107人	162人	181人
従業員数(単年度) ※1	3,290人(R3)	3,800人(R12)	—	—	—	3,290人	—	—

※1経済センサス

1)地域資源を活かしたまちの魅力強化

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事業所数(公務を除く)(単年度) ※1	391所(R3)	470所(R12)	—	—	—	391所	—	—
創業支援相談件数	4件	12件(R12)	—	—	—	—	4件	2件

※1経済センサス

2)地域産業の競争力強化

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事業所数(公務を除く)(単年度) ※1	391所(R3)	470所(R12)	—	—	—	391所	—	—
道の駅への出荷軒数(単年度) ※2	160軒	180軒(R12)	125軒	130軒	141軒	140軒	160軒	200軒
ふるさと納税謝礼品数	118件	200件(R12)	—	—	—	—	118件	132件
耕作放棄地面積(単年度)	23.75ha	23.67ha (R12)	—	—	—	—	23.75ha	33.33ha
一次産業就業者数 ※3	281人	300人(R12)	—	—	—	—	281人	281人

※1経済センサス、※2産業観光促進課調べ
※3農林業センサス・漁業センサス

3)雇用対策の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
地域就労支援事業による就職件数(累計) ※1	183件	327件(R12)	137件	162件	183件	183件	183件	185件
シルバー人材センター登録者数(単年度) ※2	154人	190人(R12)	178人	178人	170人	154人	154人	132人

※1産業観光促進課調べ、※2地域福祉課調べ

→ 地域力・住民力を活かし、人口減少社会に対応した安全・安心かつ快適で利便性の高いまちを創出する。



数値目標	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
これからも岬町に住み続けたいと思っている住民の割合(単年度)※1	66.0%(R1)	70%(R12)	—	66%	—	—	—	—
岬町での生活に満足している住民の割合(単年度)※2	62.9%(R1)	70%(R12)	—	62.9%	—	—	—	—

1)生活インフラの確保

※1※2第5次総合計画策定に関する住民意識調査

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
コミュニティバスの利用者数(単年度)※1	121,644人	130,500人(R12)	130,654人	129,969人	105,609人	103,687人	121,644人	127,937人
小売事業者数(単年度)※2	80事業者(R3)	120事業者(R12)	—	—	—	80事業者	—	—
下水道処理人口普及率(単年度)※3	79.7%	80.8%(R12)	78.4%	78.8%	79.0%	79.2%	79.7%	81.6%
文化・スポーツ施設オンライン利用予約件数	370件	400件(R12)	—	—	—	—	370件	240件
チャットボイス利用者アンケート結果(解決度)	—	80%(R12)	—	—	—	—	—	42.9%
証明書などのコンビニ等交付による割合(単年度)	—	50%(R12)	—	—	—	—	—	24%
スマホ教室参加者数(単年度)	9人	60人(R12)	—	—	—	—	9人	40人
町公式LINE友だち数※4	3,200人	5,600人(R12)	—	—	—	—	3,200人	3,560人

※1生活環境課調べ※2経済センサス※3下水道課調べ。

※4ブロック数を除く有効友だち数



2)安全・安心な暮らしの確保

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
自主防災組織数(累計) ※1	48団体	53 団体(R12)	44団体	47団体	48団体	48団体	48団体	48団体
刑法犯罪発生件数(単年度)※2	59件	50 件(R12)	101 件	85 件	78件	64件	59件	58件
防犯カメラ設置台数(累計)※3	52台	55 台(R12)	—	—	47台	52台	52台	54台

3)誰もが健康で暮らしやすいまちづくりの推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
いきいきパークみさきの利用者数(単年度) ※1	33,951人	40,000人(R12)	15,542人	32,977人	28,824人	28,280人	33,951人	29,266人
健康ふれあいセンターの利用者数(単年度) ※2	73,662人	96,000人(R12)	95,963人	85,094人	72,377人	70,541人	73,662人	75,287人
いきいきサロン開催数(単年度) ※3	70回	102 回(R12)	101回	88 回	10回	10回	70回	72回

4)地域コミュニティの活性化

※1企画地方創生担当調べ、※2※3地域福祉課調べ

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
自治区(会)加入率(累計) ※1	79.1%	85% (R12)	81.7%	80.7 %	81.6 %	82.0%	79.1%	79.6%
岬ゆめみらいサポート事業件数(単年度) ※2	6件	13 件(R12)	7 件	9 件	4件	2件	6件	16件

5)広域連携の推進

※1危機管理担当調べ、※2企画地方創生担当調べ

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
広域連携事業数(累計)※1	27事業	32事業(R12)	25事業(R12)	26事業	27事業	27事業	27事業	27事業
学校間交流に参加した人数(単年度)【再掲】	93人	400人(R12)	—	—	—	—	93人	18人

6. 人口の将来展望について

岬町デジ田総合戦略に掲げる事業を戦略的に推進し、合計特殊出生率の向上と社会動態の均衡を目指し、約1,600人の増加を見込みます。

